

報道関係者各位

2026年5月11日

スマートソーラー株式会社

スマートソーラー、アジアゲートウェイと業務提携

～日本発の PV・蓄電池・EMS/DERMS と JCM・国際金融ネットワークを連携し、
モンゴルをはじめとする海外脱炭素電力インフラ事業を共同推進～

スマートソーラー株式会社（本社：千葉県木更津市、代表取締役：手塚博文、以下「スマートソーラー」）は、アジアゲートウェイ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：木村友則、以下「AG」）と、JCM（二国間クレジット制度）等を活用した海外脱炭素電力インフラ事業の案件開拓、導入提案、事業化支援を共同で推進することを目的として、業務提携契約を締結しました。

AG は、JCM、カーボンクレジット、デジタル MRV、国際案件開発、資金調達支援等を活用し、海外における再生可能エネルギー・脱炭素プロジェクトの事業化を進めてきました。特に、モンゴルをはじめとする海外市場において、政府、金融機関、企業とのネットワークを有し、JCM 等の制度を活用した事業形成に強みを持っています。

一方、スマートソーラーは、太陽光発電システム、蓄電池システム、PCS、EMS/DERMS、マイクログリッド、O&M 等の開発・導入・運用に取り組んできました。当社は、自社ブランドによる PV モジュール、蓄電池システム、PCS、EMS/DERMS 等を組み合わせ、発電・蓄電・制御・運用を一体で提供できることを強みとしています。

本提携により、AG が有する JCM・国際金融・海外ネットワークと、スマートソーラーが有する PV・蓄電池・EMS/DERMS 等の技術・製品・運用ノウハウを連携させ、日本企業の技術を活用した新たな海外脱炭素電力インフラモデルの構築を目指します。

1. 提携の背景

JCM は、日本とパートナー国が協力して温室効果ガスの排出削減・吸収量を定量的に評価し、その成果を両国の排出削減目標の達成等に活用する制度です。2026年4月時点で、JCM パートナー国は 32 か国に拡大しており、再生可能エネルギー、蓄電池、省エネルギー、デジタル MRV 等を活用した海外脱炭素プロジェクトの重要な制度基盤となっています。

これまで、JCM 等を活用した海外再生可能エネルギー事業では、制度活用、現地案件形成、資金調達が先行する一方で、日本企業が有する PV、蓄電池、PCS、EMS/DERMS、O&M 等の技術・製品・運用ノウハウを、より実質的に海外案件へ組み込んでいくことが重要な課題であると考えています。

スマートソーラーは、日本の公的支援制度を活用した海外脱炭素事業において、単に対象国で再生可

能エネルギー設備を導入するだけでなく、日本企業の技術・製品・長期運用力を活かし、対象国の脱炭素化と日本企業の海外展開を同時に実現することが重要であると考えています。

今回の AG との提携は、まさにこの課題に応えるものです。AG の JCM・国際金融・海外ネットワークと、スマートソーラーの PV・蓄電池・EMS/DERMS・O&M を組み合わせることで、日本発の脱炭素電力インフラを、モンゴルをはじめとする海外市場へ展開してまいります。

2. 本提携における両社の役割

■ スマートソーラーの役割：

PV モジュール、蓄電池システム、PCS、EMS/DERMS、マイクログリッド、O&M 等の技術・製品・運用ノウハウを提供します。発電・蓄電・制御・運用を一体化した脱炭素電力インフラの設計、導入、運用を担い、海外市場においても実装性と信頼性の高いエネルギーシステムの提供を目指します。

■ AG の役割：

JCM、カーボンクレジット、デジタル MRV、国際案件開発、資金調達支援、現地政府・金融機関・企業とのネットワークを活用し、海外脱炭素プロジェクトの事業化を支援します。特に、JCM 等の制度活用、環境価値の設計、資金調達、現地パートナーとの連携において強みを発揮します。

■ 両社の相乗効果：

スマートソーラーの技術・製品・実装力と、AG の制度・金融・国際展開機能を組み合わせることで、再生可能エネルギー設備を単なる発電設備にとどめず、環境価値、金融価値、長期運用価値を備えた脱炭素電力インフラとして展開してまいります。

3. 共同で取り組む重点領域

(1) モンゴルにおける PV・蓄電池・EMS/DERMS 事業

モンゴルでは、再生可能エネルギーの導入拡大、電力インフラの安定化、寒冷地における蓄電池・制御システムの活用、地域分散型電源の整備が重要な課題となっています。スマートソーラーと AG は、モンゴルを重点市場の一つと位置づけ、PV、蓄電池、PCS、EMS/DERMS、O&M、デジタル MRV、JCM 等を組み合わせた脱炭素電力インフラの導入提案を共同で進めてまいります。

(2) JCM パートナー国における日本発脱炭素インフラの展開

JCM パートナー国を対象に、PV、蓄電池、PCS、EMS/DERMS、デジタル MRV を組み合わせた再生可能エネルギー導入モデルを展開します。これにより、対象国の温室効果ガス削減に貢献するとともに、日本企業の技術・製品・運用ノウハウを活用した海外展開モデルの構築を目指します。

(3) 海外の公共・産業向け分散型電源・マイクログリッド

電力供給の安定化、電力コストの低減、災害・停電時のレジリエンス向上が求められる地域に対し、PV、蓄電池、EMS/DERMS を組み合わせた公共施設、工場、商業施設、地域マイクログリッド向けの脱炭素電力インフラを提案してまいります。

(4) 将来的な水素・アンモニア分野への展開

将来的には、PVと蓄電池による低炭素電力を基盤として、水電解によるグリーン水素、グリーンアンモニア等の分野への展開可能性についても検討してまいります。

4. 代表者コメント

スマートソーラー株式会社 代表取締役 手塚 博文

スマートソーラーは、創業以来、太陽光発電、蓄電池、PCS、EMS/DERMS、マイクログリッド、O&Mを組み合わせ、再生可能エネルギーの導入拡大と電力の安定供給を両立するエネルギーシステムの普及に取り組んでまいりました。

JCMをはじめとする日本の公的支援制度は、海外における脱炭素化を推進する重要な仕組みです。一方で、これらの制度をより大きな価値につなげるためには、日本企業が有する技術、製品、エンジニアリング、長期運用ノウハウを、海外の再生可能エネルギー事業にしっかりと組み込んでいくことが重要であると考えています。

今回、JCM、国際金融、海外案件開発、現地ネットワークに強みを持つアジアゲートウェイ株式会社と提携することで、当社が国内で培ってきたPV、蓄電池、PCS、EMS/DERMS、O&Mの技術・製品・運用ノウハウを、モンゴルをはじめとする海外市場へ展開する大きな機会になると考えています。

特にモンゴルでは、今後、再生可能エネルギーの大量導入、蓄電池による電力安定化、寒冷地対応、分散型電源、地域電力インフラの高度化が重要になると考えています。スマートソーラーは、AGの現地ネットワークと連携し、日本発の脱炭素電力インフラモデルを構築することで、モンゴルをはじめとする各国の脱炭素化と電力インフラの安定化に貢献してまいります。

また、本提携を通じて、日本の公的支援制度を、対象国の脱炭素化だけでなく、日本企業の技術・製品の海外展開にもつなげる新たなモデルを創出してまいります。

5. 今後の展開

スマートソーラーとAGは、本提携を通じて、モンゴルを重点市場の一つとし、PV、蓄電池、PCS、EMS/DERMS、O&M、JCM、デジタルMRV、資金調達を組み合わせた脱炭素電力インフラ事業の具体的な案件形成を進めてまいります。

また、JCMパートナー国をはじめとする海外市場において、日本発の再生可能エネルギー・蓄電池・制御技術を活用した事業モデルを展開し、対象国の脱炭素化、電力インフラの安定化、日本企業の海外展開に貢献してまいります。

6. 主な専門用語の説明

本リリースで使用する主な専門用語は、以下のとおりです。

用語	説明
PV	太陽光発電。太陽光パネルにより太陽光を電力へ変換する発電方式。

用語	説明
BESS／蓄電池	Battery Energy Storage System の略。発電した電力を蓄え、必要な時間帯に放電する蓄電池システム。
PCS	Power Conditioning System の略。太陽光発電や蓄電池の直流電力を交流電力に変換し、電力系統や需要設備に接続する装置。
EMS／DERMS	EMS は施設内の発電・蓄電・需要を最適制御するシステム。DERMS は複数の分散型電源を広域で統合制御するシステム。
JCM	二国間クレジット制度。日本とパートナー国が協力して温室効果ガス排出削減量を定量評価し、両国の削減目標に活用する制度。
デジタル MRV	排出削減量や環境価値について、測定・報告・検証をデジタルデータに基づき行う仕組み。
カーボンクレジット	温室効果ガスの排出削減・吸収量を価値化したもの。企業や国の脱炭素目標達成等に活用される。
マイクログリッド	地域や施設内で発電設備・蓄電池・需要設備を制御し、平常時の省エネや停電時の自立運転を可能にする小規模電力網。
O&M	Operation & Maintenance の略。発電設備・蓄電池設備の運用、保守、監視、点検、性能管理を行う業務。
グリーン水素・アンモニア	再生可能エネルギー由来の電力で水素を製造し、さらにアンモニア等へ転換して燃料・原料として活用する考え方。
環境価値	再生可能エネルギー由来の電力や温室効果ガス削減量を持つ価値。クレジットや証書等として取引・活用される。
国際金融ネットワーク	海外プロジェクトの事業化に必要な金融機関、投資家、現地企業、政府関係者等との連携基盤。
脱炭素電力インフラ	再生可能エネルギー、蓄電池、制御システム、O&M 等を組み合わせ、低炭素で安定した電力供給を行う基盤。
分散型電源	大規模発電所だけに依存せず、需要地近くに配置される太陽光発電、蓄電池、非常用電源等の小規模電源。

7. 会社概要

項目	スマートソーラー株式会社	アジアゲートウェイ株式会社
所在地	千葉県木更津市かずさ鎌足 3 丁目 9 番地 1	東京都千代田区神田錦町 3-7-2 逸侶ビル 5F
代表者	代表取締役 手塚 博文	代表取締役 木村 友則
事業内容	太陽光発電システム、蓄電池システム、PCS、EMS/DERMS、マイクログリッド、O&M 等の再生可能エネルギー関連事業	JCM、カーボンクレジット、デジタル MRV、国際案件開発、資金調達支援、海外脱炭素プロジェクト開発等

8. 本件に関するお問い合わせ先

スマートソーラー株式会社

担当：渡辺

E-mail：info@smartsolar.co.jp

以上